

NEWSLETTER No. 82 ISSN 1340-5578 **TŌYŌ ONGAKU GAKKAI KAIHŌ** The Society for Research in Asiatic Music May 25, 2011

社団法人 **東洋音楽学会** **会報** 第**82**号

発行 (社)東洋音楽学会
事務所 〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3 三春ビル307号 TEL/FAX 03-3832-5152
●E-mail: LEN03210@nifty.com ●ホームページ: <http://www.soc.nii.ac.jp/tog/>

目次

第62回大会のご案内	1	ICTM(国際伝統音楽学会)に関するお知らせ	4
第62回大会の研究発表募集	2	第6回芸術学関連学会連合シンポジウムのお知らせ	4
第28回田邊尚雄賞受賞者発表	2	東日本支部からのお知らせ	5
第29回田邊尚雄賞アンケートのお願い	2	会員異動	5
第83回通常理事会議決事項のお知らせ	3	図書・資料等の受贈	6
一般社団法人への移行に伴う新定款について(中間報告)	3	新刊書籍	7
名簿作成についてのお願い	3	新発売視聴覚資料	7
会費納入のお願い、会費割引のお知らせほか	3	編集後記	7

第62回大会のご案内

(社)東洋音楽学会は、平成23年度の研究発表大会および公開講演会を以下の通り開催します。どうぞふるってご参加ください。

- 日時 平成23年10月8日(土)～9日(日)
- 会場 京都教育大学

〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1

JR奈良線 JR藤森駅より徒歩約3分

京阪本線墨染駅より徒歩約7分

- テーマ 「日本に息づくアジア音楽」

- 日程

[第1日]

9:45 受付

10:00 プレセッション

教育資料館「まなびの森ミュージアム」特別公開

映像発表(1)

公開講演会「日本に息づく韓国音楽」

13:00 韓国芸能公演

舞踊: 金一志、パンソリ: 安聖民、

杖鼓・プク: 李昌燮、玄琴: 朴善英

14:10 「日本で活動する韓国人芸術家たちに聞く」

話し手: 金一志、安聖民、李昌燮

司会: 植村幸生

16:20 第28回 田邊尚雄賞授賞式

16:40 第42回 通常総会

18:00 懇親会・田邊尚雄賞受賞祝賀会

[会場: 京都教育大学学生会館食堂]

[第2日]

9:00 受付

9:30 研究発表(1)、映像発表(2)

13:00 研究発表(2)、シンポジウム等

17:00 閉会

(日程および内容は予定で、変更することもあります。)

- 参加費等

参加費 1,000円

懇親会費 4,000円(学生2,000円)

大会実行委員会:

今田健太郎、上野正章、遠藤徹、垣内幸夫(委員長)、金銀周、
藪田郁、竹内有一、田中多佳子(事務局長)、田村菜々子、
出口実紀、福岡正太、藤田隆則、松井今日子、早稲田みな子

第62回大会の研究発表募集

第62回大会における研究発表を、下記の要領で募集します。多彩な内容の発表を期待いたします。今回の大会テーマは「日本に息づくアジア音楽」です。テーマに沿った発表を歓迎しますが、とくにそれにこだわる必要はありません。

1. 発表形態

- (A) 個人発表 口頭発表 20分+質疑応答 10分
- (B) 複数人による共同発表あるいは企画 60分~120分 (含質疑等。セッション、討論、シンポジウム等、形態随意。)
- (C) 映像発表 (個人または共同) 約15分~30分程度の学術映像 (「映像発表室」を設け、第1日の午前と第2日の終日、ループで上映します。)

2. 申込方法

(A)(B)については、題目(Bは発表形態を付記してください)、要旨(Aは800字程度、Bは1000字程度)、氏名(Bの場合は、代表者氏名と構成員氏名)、連絡先(住所、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス等)、使用希望機材、その他の必要事項を、(C)については、題目、概要(600字程度)、氏名(共同の場合は代表者氏名と構成員氏名)、連絡先(住所、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス等)、映像記録媒体、その他の必要事項を明記の上、大会実行委員会研究発表担当委員(代表:藤田隆則)まで、書面で郵送にてお申し込みください(封筒表に「東洋音楽学会大会発表申込」と朱で書込んでください)。

3. 申込先

郵便宛先: 〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町13-6
京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター
藤田隆則研究室気付
(社)東洋音楽学会 第62回大会実行委員会
研究発表担当委員
Tel./Fax. 075-334-2392 (研究室直通)

申込締め切り: 2011年7月4日(月)必着(厳守)

【注意】

① 申込は、電子メールでも同時に行ってください。添付ファイルの場合は、docか.txtの形式にしてください。送り先は大会実行委員会研究発表担当委員藤田隆則のアドレス (E-mail: tfujita@kcuu.ac.jp) です。②安全のため、大会事務局アドレス (E-mail: taka@kyokyo-u.ac.jp) にも同報メール(cc.)にて同時にお送りください。③発表申込が届いた時点で、大会実行委員会からその旨を電話・FAX・電子メール等で連絡します。発表申込をしながら3日以内にその連絡を受けなかった場合は、至急、上記、大会実行委員会研究発表担当委員にお問い合わせください。

4. 採否

締め切り後、実行委員会で査読員(学会員)を含めて審査を行った上で決定し、結果を申込者全員に通知します。

第28回 田邊尚雄賞受賞者発表

第28回田邊尚雄賞は、以下のように決定いたしました。

[受賞者・授賞対象]

水野信男(兼編者)、新井裕子、飯野りさ、齋藤完、谷正人、樋口美治、米山知子(以上学会員7名)
西尾哲夫(兼編者)、堀内正樹(兼編者)、青柳孝洋、小田淳一、小杉麻李亜、樋口ナダ(以上非学会員6名)

『アラブの音文化~グローバル・コミュニケーションへのいざない』

2010年2月18日、スタイルノート、ISBN 978-4-903238-41-8

[選考経過]

推薦された業績8件について、3月5日(土)に委員長自宅で開催された第28回田邊尚雄賞選考委員会において慎重に審議し、上記1件が選ばれました。

授賞式は本学会第62回大会で行われる予定です。

[授賞理由]

理事会で承認された授賞理由は以下の通りです。

本書は、音によるコミュニケーションの力をアラブの社会的・歴史的文脈で捉え、13名の著者がそれぞれの専門研究の立場から論じたものである。アラブの音文化に関する日本語文献がほとんどない現状において、本書の学会への貢献は貴重である。特に注目すべきは、本書がアラブ音楽の紹介や解説にとどまることなく、言語も音楽も多様な中で共通の価値基準や感受性がどのようにはぐまれるのか、という独自の視座で問題設定を行い、この問題意識を巻末の座談会を含め、総ての執筆者が共有した上で、本書の全体を貫いている点である。この研究方法は、今後の共同研究や共著書のあり方に、重要なひとつの方向性を示すものとして評価できる。

第29回 田邊尚雄賞アンケートのお願い

◇アンケートのお願い

第29回田邊尚雄賞は、下記の要領で選考・授与されます。その選考対象となる会員の業績について、皆様からの情報を募集いたします。自薦他薦を問いませんので、会員各位の積極的なご協力をお願いいたします。

対象期間: 2011(平成23)年1月1日~12月31日。

アンケート締切: 2012(平成24)年2月7日(火)必着。

対象期間中も随時受け付けます。

アンケート記入事項：著者名、刊行年月日、刊行所名。なお、論文の場合は、以上のほか、掲載誌名、巻次、編集者名、論文頁数も記入してください。

アンケート送り先：

(社)東洋音楽学会第29回田邊尚雄賞選考委員会

(郵送) 〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3 三春ビル
307号

(FAX) 03-3832-5152

(電子メール) LEN03210@nifty.com

選考委員：薦田治子、高松晃子(以上継続)、岡崎淑子、ジェラルド・グローマー、田中多佳子(以上新規)

第83回 通常理事会議決事項のお知らせ

2011年4月3日(日)にルノール(貸会議室マイ・スペース)新宿3丁目ビッグビル店7号室において第83回通常理事会が開催されました。主な議決事項をお知らせいたします。

1) 新入会員について

前回理事会(2010年10月16日)以降、4月2日までに申し込みのあった正会員11名、学生会員3名の入会が正式に承認されました。

2) 平成23年度研究発表大会および公開講演会について

本号の関連記事をご覧ください。

3) 第28回田邊尚雄賞受賞者について

本号の関連記事をご覧ください。

4) 第29回田邊尚雄賞選考委員について

薦田治子、高松晃子(以上継続)、岡崎淑子、ジェラルド・グローマー、田中多佳子(以上新規)の五氏に委嘱することが承認されました。

5) 参事委嘱について

橋本かおる(本部)、服部阿裕未、丸山彩、中野未穂、星野和幸(東日本支部)、松井今日子(西日本支部)の各氏に参事を委嘱することが承認されました。

6) 法人改革に伴う新定款について

先の総会で、一般社団法人への移行を目指して準備をはじめの方針が決まったのをうけて、新定款について検討しました。本号の関連記事をご覧ください。

一般社団法人への移行に伴う新定款について (中間報告)

第41回通常総会の議決をうけて、理事会では現在一般社団法人への移行を目指して準備をはじめとしています。一般社団法人

に移行するためには「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」(以下、法人法)に則した新たな定款を定める必要があります。第83回理事会において、その検討を行いました。今回は中間報告ですが、現在検討されている現行定款との主要な変更点をお知らせします。

1) 総会の成立要件を現行の「会員現在数の3分の1以上出席」(現行第28条)から過半数に引き上げる。(法人法第49条による。)

2) 理事10名以上15名以内(現行第13条)の内に、常務理事を新たに設置する。(通常業務執行の責任の所在を明確にするため。)

3) 会費滞納者の処理の仕方を「除名」(現行第11条)とせず「会員資格の喪失」(現行第9条)へ移行する。(現状にあわせるため。)

4) 次年度予算は4月の理事会で決定することにする。但し、次年度の総会で報告することを義務づける。(本来、予算は前年度中に決定する必要がある、法人法では予算は総会の議決を必要としないため。)

まだ検討中の段階にありますので、上記の点について、あるいはその他の問題について、ご質問、ご意見、ご要望等のある方は、学会事務所までご連絡ください。新しい定款は、9月に行われる予定の通常理事会の議決を経て、次回の総会において正式に提案する予定です。

名簿作成についてのお願い

本年は学会名簿作成の年にあたります。新しい名簿は、本年8月末発行予定の機関誌に同封されます。同封のハガキに必要事項を記入の上、6月17日(金)までに投函してください。なお、メールでの連絡も受け付けます。その場合は、学会ホームページ(<http://www.soc.nii.ac.jp/tog/>)から様式をダウンロードして、学会事務所(LEN03210@nifty.com)へ、6月20日(月)までに送信してください。いずれの場合も締め切り厳守、なるべく早めに情報をお寄せください。会員の皆様のご協力をお願いします。なお、会員名簿は会員相互の円滑な連絡のために作成するものです。作成にあたっては、情報管理に細心の注意を払っています。会員の皆様には、名簿内容の管理に充分ご留意ください。

会費納入のお願い、大学院生・研究生会費割引 のお知らせほか

◇会費納入のお願い

2010年度の会費請求書と振替用紙を別便で郵送します。また2009年度分を未納の方にも、請求書を発送します。請求書の金

額をお確かめの上、払い込みをお願いします。なお、本誌と行き違いに納入された場合は、どうぞご容赦ください。

◇大学院生・研究生の会費減額措置

大学院生・研究生は、所定の手続きにより会費の減額を受けることができます。以下の書類を、7月31日までに学会事務局にご提出ください。

1) 大学院生：申込用紙(「大学院生会費減額措置願い」と学生証のコピー)

2) 研究生：申込用紙(「研究生会費減額措置願い」と学生証のコピー、履歴書(書式自由))

申し込み用紙は学会のHP からダウンロードするか、学会事務局にご請求ください。ただし次の点にご注意ください。

- ・一回の申請はその年度に限り有効です。年度を越えて減額措置を希望する場合は改めて「減額措置願い」をご提出ください。
- ・複数年度の会費を前納することはお控えください。
- ・年度をさかのぼっての申請はできません。
- ・研究生は理事会の承認を得た場合に限り会費減額が可能です。

◇各種発表・論文投稿資格と会費納入の関連について

本学会では、卒論・修論・博論発表、例会・大会発表、機関誌への投稿は、当該年度までの年会費を支払った会員のみが有する権利とみなされます。会員各位は、発表申込、投稿時に会費納入の有無をご確認ください。卒論・修論・博論発表者は、発表した時点でその年度の会員として登録されますので、退会届を提出しない限り、継続的に年会費を支払う義務が生じます。その旨ご了解のうえ、会費の納入にご協力ください。

ICTM (国際伝統音楽学会) に関するお知らせ

1. 第41回 ICTM 世界大会のお知らせ

2011年7月13日(水)～19日(火)、ICTM 世界大会がカナダのニューファンドランド島(Newfoundland)に位置するメモリアル大学(Memorial University)で開催されます。

大会テーマ

1. Indigenous Modernities
2. Cross-cultural Approaches to the Study of the Voice
3. Rethinking Ethnomusicology through the Gaze of Movement
4. Atlantic Roots/Routes
5. Dialogical Knowledge Production and Representation: Implications and Ethics
6. Acoustic Ecology
7. New Research

発表申し込みはすでに締め切られましたが、オブザーバーと

しての参加申し込みは可能です。本大会の詳細は、www.mun.ca/ictm をご参照ください。東洋音楽学会からは、10名ほどの会員が研究発表を行う予定です。

2. 第3回 ICTM 東アジア音楽研究会 (通称 MEA) のお知らせ

今回の MEA の大会は、2012年7月31日(火)～8月2日(木)に Chinese University of Hong Kong にて行われることになりました。詳細は未定です。

3. 第4回 ICTM 東アジア音楽研究会 (2014年) の主催機関の募集

これまでに MEA の大会は、台湾、中国、韓国で開催されました。次回(2012年)は香港で開催予定です。2014年度の大会開催地として、日本への期待が高まっています。会員の皆様の本務校等で、国際会議の誘致に積極的なお考えをお持ちの大学や研究所がありましたら、担当委員の早稲田みな子まで、是非、情報をお寄せください(minako.waseda@gmail.com)。よろしく願いいたします。

4. ICTM 担当委員からのお願い

1) 一斉メールについて

東洋音楽学会員の皆様のうち ICTM 会員に対して、担当委員より不定期に ICTM に関連するお知らせを一斉送信しています。現在までに一斉メールを受信されていない方、また現在 ICTM 会員でない方で今後 ICTM に関するメール連絡を希望される場合は、担当委員の早稲田みな子までお知らせください(minako.waseda@gmail.com)。

2) ICTM 関連の情報提供について

担当委員が ICTM 東アジア音楽研究会のメンバーであるため、同研究会に関する情報は会報、機関紙、一斉メール等皆様に随時お知らせしていますが、他の ICTM 内の研究会については情報薄です。他の研究会に所属している会員の方からの情報を募集します。お寄せいただいた情報を東洋音楽学会員に発信します。ご協力よろしく願いいたします。

第6回芸術学関連学会連合シンポジウムのお知らせ

第6回公開シンポジウム

「アートとデザイン—その分離と融合—」

日時：2011年6月18日(土) 13:00-17:00

場所：大阪大学法経講義棟第5講義室(または大阪大学会館講堂) (阪急宝塚線「石橋駅」下車徒歩10分/大阪モノレール「柴原駅」下車徒歩15分)

◇ゲスト・パネリスト (東日本支部地区)

黒川雅之(黒川雅之建築設計事務所)

報告「デザインとは何か—そのありようを問う」

◇パネリスト

竹内有子(大阪大学:意匠学会・美術史学会推薦)

報告「19世紀イギリスに見るアートとデザイン—官立デザイン学校を中心に—」

森 仁史(金沢美術工芸大学:美術史学会・意匠学会推薦)

報告「アートとデザイン—日本の場合—」

竹原あき子(和光大学:日本デザイン学会)

報告「デザインの現在—日本デザイン力は取り戻せるか」

◇ディスカッション 司会・コーディネーター

藤田治彦・黒川威人

(西日本支部地区)

東日本支部からのお知らせ

◇定例研究会発表募集(7月・12月例会)

東日本支部では、7月と12月に開催される定例研究会での発表を募集しております。ご希望の方は、発表種別(研究発表・報告等)、発表題目、要旨(800字以内)、発表希望月、氏名、所属機関、連絡先(住所、電話、Fax、E-mail)を明記のうえ、東日本支部事務局(tog.higashi@gmail.com)あて、ご応募ください。7月2日(土)例会での発表をご希望の場合には6月2日までに、12月3日(土)例会での発表をご希望の場合には9月10日までに、お申し込みください。

(海外在住会員)

◇東日本支部ミラーサイトとブログの開設

節電により学会サーバーが休止することがあるため、下記のように、東日本支部ミラーサイトとブログを開設しました。学会ホームページをご覧いただけない場合に、どうぞご参照ください。

東日本支部ミラーサイト:

http://www006.upp.so-net.ne.jp/tog_higashi/

東日本支部ブログ:

<http://tog-higashi.blogspot.com/>

◇新入会員(所属は入会申請時)

(正会員)

会員異動

名簿記載事項の訂正・変更・追加

(2011年1月~4月、訂正箇所は下線部)

(賛助会員)

会員異動は、個人情報保護のため削除しました。

会員異動は、個人情報保護のため削除しました。

◇退会者

(正会員)

◆住所・所属等に変更ありましたら事務局までご連絡ください。
(機関誌別冊会員名簿とじ込みの変更届用はがき、またはファクス、E-mail等でも結構です。)

◆改姓・改名のお届けには、ご希望の表記法をお書き添えください。(複数表記される場合、どちらを主な表記にするのか等。)

◆事務局に登録はされても、公表を希望されない情報等がある場合には、その旨ご明記ください。

図書・資料等の受贈

(2011年1月～4月、到着順)

『楽道』1, 2, 3, 4月号 正派邦楽会
『東方學會報』No. 99 (財)東方学会
『ぎふ民俗音楽』第86, 87号 岐阜県民俗音楽学会
『民俗芸能研究』第49号 民俗芸能学会
『ビルマ古典歌謡におけるジャンル形成』
井上さゆり著 大阪大学出版会
『研究紀要』XXXI エリザベト音楽大学
『演劇映像学 2009 報告集』1, 2 ; 『演劇映像学 2010』第1
～5集, 同CD版
早稲田大学演劇博物館グローバルCOEプログラム

『還ってきた文楽フィルム「日本の人形劇—人形浄瑠璃」研究報告』 早稲田大学演劇博物館グローバル COE プログラム『News Letter』No. 9, 10

早稲田大学演劇博物館グローバル COE プログラム『音楽学』第56巻2号 日本音楽学会『美学論究』第二十六編

関西学院大学文学部美学研究室

『研究紀要』第17号

北海道立アイヌ民族文化研究センター

『The Shamisen: Tradition and Diversity』

Henry Johnson 著 Brill

『世界のチャルメラ—みんなく映像民族誌 第3集』(DVD)

寺田吉孝監修 国立民族学博物館

新刊書籍

『アメリカ音楽史：ミンストレル・ショウ、ブルースからヒップホップまで』 大和田俊之、講談社、1,890円。

『歌垣と東アジアの古代歌謡』曹咏梅、笠間書院、5,880円。

『唄者の肖像』 高桑常寿、河出書房新社、3,990円。

『演歌は国境を越えた：黒人歌手ジェロ家族三代の物語』

岩波書店、小堀正記、1,890円。

『音楽史を変えた五つの発明』

H.グッドール、白水社、2,730円。

『音楽のカルチュラル・スタディーズ』

M.クレイトン他、アルテスパブリッシング、3,990円。

『雅楽を聴く：響きの庭への誘い』

寺内直子、岩波書店、756円。

『歌舞伎から江戸を読み直す』

田口章子、吉川弘文館、1,890円。

『新版歌舞伎事典』

服部幸雄、富田鉄之助、廣末保、平凡社、8,820円。

『歌謡曲：時代を彩った歌たち』 高護、岩波書店、840円。

『コーチングに役立つ音楽理論』

秋谷えりこ、シンコーミュージック、1,575円。

『国旗・国歌・国慶：ナショナリズムとシンボルの中国近代史』

小野寺史郎、東京大学出版会、6,720円。

『サルでも分かる音楽理論』

津本幸司、シンコーミュージック、上1,575円、下1,680円。

『七五調のアジア：音数律からみる日本短歌とアジアの歌』

岡部隆志、西條勉、工藤隆、大修館書店、2,100円。

『ジブシーを訪ねて』 関口義人、岩波書店、840円。

『近松門左衛門名作文楽考：女殺油地獄』

豊竹咲大夫、尾寄彰廣、講談社、2,940円。

『能楽からみた中世』 脇田晴子、東京大学出版会、6,090円。

『プレイバック制作ディレクター回想記音楽「山口百恵」全軌跡』 川瀬泰雄、学研教育出版、2,415円。

『文楽ハンドブック(第3版)』藤田洋、三省堂、1,680円。

『ラフガイド・トゥ・レゲエ』

S.バロウ、P.ドルトン、河出書房新社、9,240円。

新発売視聴覚資料

(ゴシック体の項目は賛助会員による刊行物)

●CD

『木下保の藝術〜信時潔、團伊玖磨 歌曲集』

VZCC-1042、2,800円。

『邦楽芸能全集：SP 盤復刻』 COCJ-36744-5、3,800円。

●DVD

『知名定男：唄魂 Live』 KIBM-272、4,200円。

●カセット

『三階節／隠岐相撲取り節』 VZSG-10588、1,200円。

『長崎月琴節／柴姥踊り』 VZSG-10590、1,200円。

『三春甚句／漆掻き唄』 VZSG-10589、1,200円。

編集後記

このたびの東日本大震災が見せつけた自然の力は、私たちの想像をはるかに越えていました。被害に遭われた方々には、心よりお見舞い申し上げます。

計画停電や紙・インクの不足により、一時は会報の印刷も危ぶまれましたが、無事に82号をお届けすることができました。今号の中心は、秋の大会のご案内と、学会の一般法人化に伴う定款の変更に関するお知らせです。後者については、次回総会までにぜひご一読ください。

また、今年は名簿作成の年になっています。同封のハガキにて、掲載事項をお知らせくださるようお願いいたします。なお、名簿担当者によりまして、「専門分野」の記載事項がとて長い場合に、所定の行に収めるのに苦労があるそうですので、コンパクトな表現にご協力ください。(高松晃子)

会報編集委員

理事：高松晃子、横井雅子

参事：荻野珠、重田絵美、柴田真希、橋本かおる、星野厚子、柳澤久美子、山口かおり